

(様式第1号) (第9条関係)

事業基本計画書

2024年10月25日

長野県知事 様

住 所 長野県長野市栗田2027

氏 名 有限会社BBシステム

代表取締役 柴田隆幸

〔法人にあつては、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第9条第1項（第21条第3項、第27条及び附則第6項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所	長野県飯山市大字旭字大平峰8244番	
事業区域の位置及び面積	別添位置図のとおり 29,957.9㎡	
太陽光発電電力施設の合計出力	1,400.00kW (太陽電池の合計出力 2,184.48kW)	
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	■売電 □自家消費 設備ID (非FITのため設備IDなし)
	設置工事着手予定日	2025年8月10日
	設置工事完了予定日	2025年10月31日
	運転開始予定日	2025年11月15日
	施設撤去予定日	2055年11月15日
太陽光発電施設の設置に関する計画	別添の太陽光発電施設設置計画書のとおり	
太陽光発電施設の構造に関する事項	地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参考の上、設計会社による構造計算を行い、架台について風雪に耐えられる強度なものとする	
景観の保全のための措置の検討に関する事項	別添景観保全のための措置の検討状況のとおり	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		
維持管理計画に関する事項	別添の維持管理計画書のとおり	
関係市町村長及び関係住民の範囲並びにその根拠	範囲	飯山市役所および案件地周辺住民（半径200m）と水源下流域住民

	根拠	発電所により影響を及ぼす住民様は周辺住民様と案件地近くの水源を必要とする住民様であると考えます
事業基本計画説明会の開催の日時及び場所	日時	2024年11月9日以降
	場所	事業予定地
意見の提出先	郵送先	長野県長野市栗田2027 有限会社BBシステム 柴田 宛 メール 代表メール：info@bb-system-s.com
土地の権原の取得予定		2024年10月9日売買契約締結
地域社会に資する事項		1. 発電所維持に関し、年2回以上の除草を地元シルバー人材への依頼をいたします。 2. 自治会費等発生する場合は協力させていただきます。
備考		連絡先 有限会社BBシステム (電話番号) 026-227-0433 (電子メールアドレス) info@bb-system-s.com

注1 該当する□内に△印を記入すること

- 2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
- 3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
- 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
- 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
- 6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。



景観の保全のための措置の検討状況書

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	現地は標高860mの高地のグランド跡地であり、敷地内に樹木はなく、敷地を整地する程度の造成を考えております。 現況の形を維持し地形の連続性が損なわれる等の違和感は生じません。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	公共的眺望点として、斑尾高原ホテルからの予想俯瞰図を作成いたしました。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	敷地は重要な道路や住宅の敷地に等に隣接しておりません。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	パネル間の幅を5mとり、管理のしやすさと冬の積雪時の除雪に対応した間隔とした。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	積雪を考慮し、最低部分を2.5m、最高部分を5.76mにしましたが、施設GLと道路に高低差があり現状でも施設が見えにくくなっております。またなるべく現状の低木を残し道路から施設を見えにくくします。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	公共的な眺望点から約3.1km離れており肉眼では施設形態を目視することは不可能かと思えます。 積雪を考え傾斜角30度を採用いたします。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	積雪強度計算をしました架台を採用します。南向き並列で一直宣に配置いたします。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	傾斜角30度の採用で近隣住宅・山並と整合性を保ちます。

		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	道路が敷地の南から東に面しているためパネルの裏面は道路から見えません。
--	--	-----------------------------------	-------------------------------------

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池モジュール	材料・色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	パネルはメーカー仕様の低反射・防眩処理パネルを採用します。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	パネル色は低明度の黒色を採用します。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。 (2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。
附帯施設・附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	フェンス・門扉色は、景観に配慮しベージュ色とします。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	既設の電柱を使い配電いたします。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	架台はアルミ色になります。他の付属類はベージュ色で統一します。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	植栽は行いませんが既存の自然林は伐採せずレイアウトできますので現状の環境を損ないません。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	植栽は行いません。既存の樹木を残し周辺地に適合した自然の環境といたします。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	施設の場所が周辺住宅・道路より高所であり、また周辺地の属性から反射光の影響はないと考えます。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	30年間の保守点検は事業者が責任をもって行います。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。	飯山市まちづくり課へ届け事前協議いたします。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

維持管理計画

作成日 2024 年 10 月 24 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県飯山市大字旭字大平峰 8244 番	
事業者名(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先)	長野県長野市栗田 2027 有限会社 B B システム 代表取締役 柴田隆幸 電話 026-227-0433	
保守点検責任者	氏名及び住所	中部電気保安協会中野営業所 長野県中野市大字吉田字中川原 1277 番 1
	電話番号	0120-721-250
合計出力	1,400kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日(事業終了予定日)	2055 年 11 月 15 日	
損害保険の加入状況	■有 □無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	リサイクル法に則り、分別解体撤去を行い産廃処理業者にて撤去いたします。廃棄費用は売電収益の一部を積み立て充当いたします。	
維持管理計画及び状況の公表方法	1. 現地に標識看板設置し事業者・連絡先を明記 2. 有限会社 B B システムの HP にて事業公表 3. 情報開示請求があった場合は速やかに開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

万が一、発電施設周辺で土砂災害が発生するおそれがある場合は、人命を脅かさないことの下条件下にて現地の直流・交流電源を切り感電による 2 次被害を防ぎます。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

発電施設の損壊が生じた場合、早急に送電線の遮断と損壊施設の撤去に入ります。周辺環境全に支障が生じた場合、同じく損壊施設の撤去及び損壊にて支障がでた周辺環境を撤去し、その後、現状回復に向け工事の段取りをし、周辺環境を再生いたします。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	■	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年4回	3ヶ月毎
			端子箱に破損、変形がないか			
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。			
	■	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。			
	■	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。			
	■	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。			
	■	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。			
			接続部に緩み、破損がない。			
	■	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。			
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。			
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。			
ボルト、ナットの緩みがない。						
固定強度に不足の懸念がない。						
接続箱	■	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。	年4回	3ヶ月毎	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			
			雨水、じんあい等の侵入がない。			
■	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。	年4回	3ヶ月毎		
漏電遮断器	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。	年4回	3ヶ月毎	
	■	配線	配線に著しいきず、破損がない。	年4回	3ヶ月毎	
パワーコンディショナー	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。	年4回	3ヶ月毎	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			

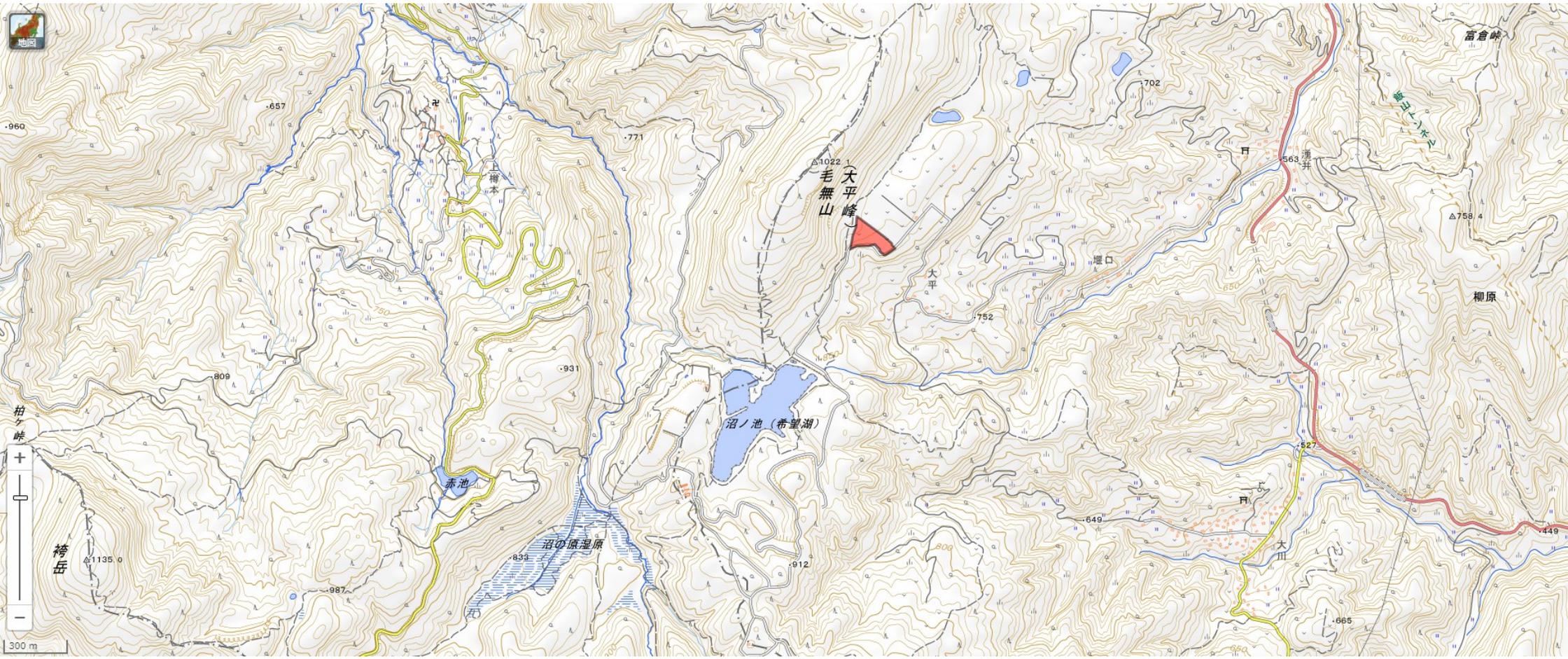
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年4回	3ヶ月毎
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年4回	3ヶ月毎
	■	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年4回	3ヶ月毎

### 附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	□	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 ○ 回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	□	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
排水設備	□	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	□	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			

			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。		
			草木の繁茂がない。		
	<input type="checkbox"/>	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		
	<input type="checkbox"/>	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		
	<input type="checkbox"/>	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。		
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			油等の浮遊がない。		
	<input type="checkbox"/>	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		
			油等の浮遊がない。		
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		
防護柵、塀	<input checked="" type="checkbox"/>	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。	年4回	3ヶ月毎
	<input checked="" type="checkbox"/>	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年4回	3ヶ月毎
	<input type="checkbox"/>	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。	年4回	3ヶ月毎
進入路・管理道	<input checked="" type="checkbox"/>	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年4回	3ヶ月毎
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年4回	3ヶ月毎
			雨水等による洗掘がない。	年4回	3ヶ月毎
			草木の繁茂がない。	年4回	3ヶ月毎
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。		
			段差、傾斜がない。		
			空洞の発生（土砂の流出）がない。		
			隆起の発生がない。		
設置地盤	<input checked="" type="checkbox"/>	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年4回	3ヶ月毎
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年4回	3ヶ月毎
			雨水等による洗掘がない。	年4回	3ヶ月毎
			草木の繁茂がない。	年4回	3ヶ月毎

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。



廃棄物関係

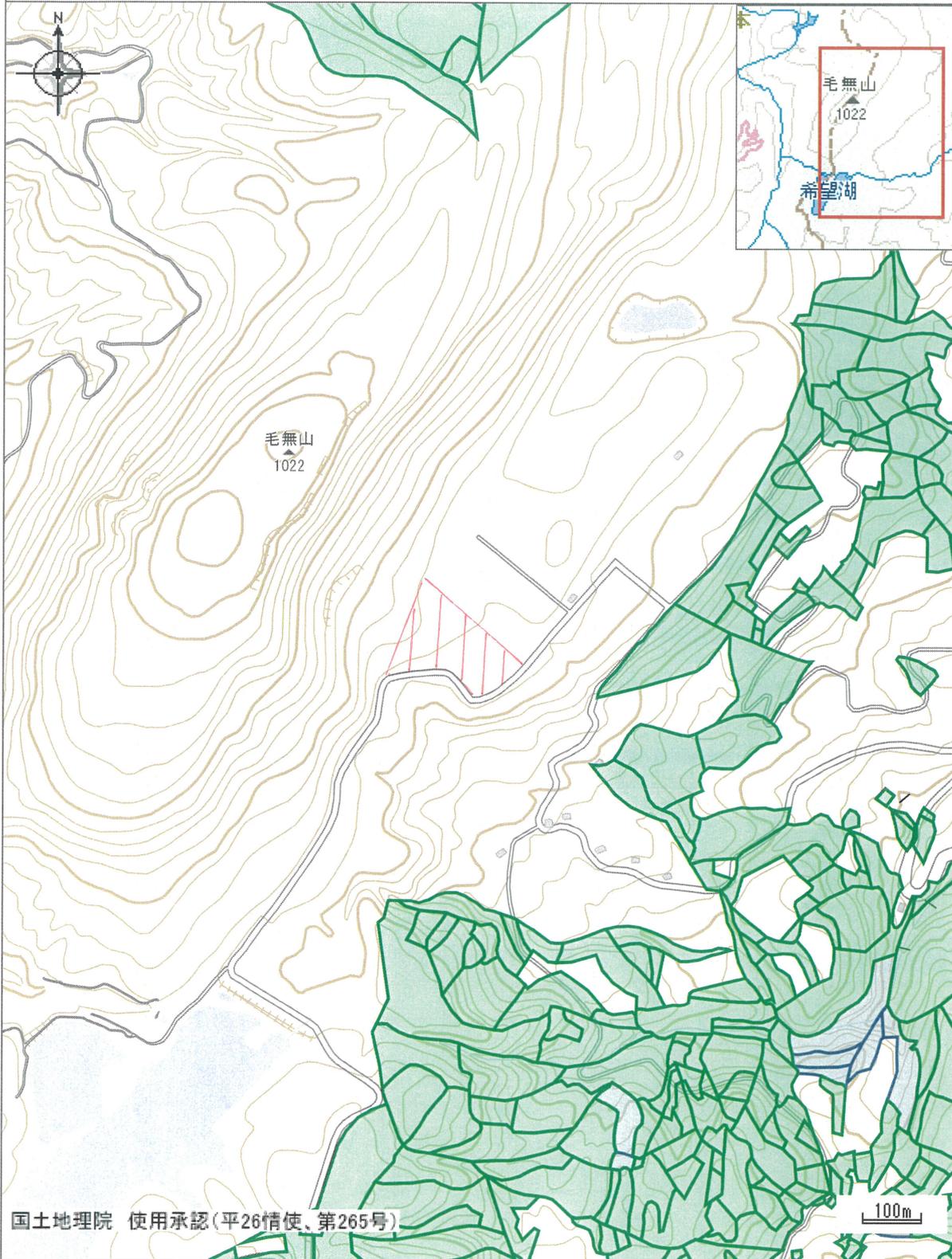
中心地 | 飯山市旭 付近



印刷日時: 2024/09/24 10:09:06

森林情報

中心地 | 飯山市旭 付近



凡例

- 普通林
- 保安林

印刷日時: 2024/09/24 10:06:23

防災

中心地 | 飯山市旭 付近



国土地理院 使用承認(平26情使、第265号)

100m

凡例

- 土石流危険渓流
- 山地災害危険地区 (地すべり危険地区 (林務))
- 山地災害危険地区 (山腹崩壊危険地区 (林務))
- (Y地すべり) (土砂災害防止法)
- 野沢温泉領域
- 地すべり防止区域 (林務) (地すべり等防止法)
- 地すべり防止区域 (土木) (地すべり等防止法)

印刷日時: 2024/09/24 09:59:07



Google マップを検索する



あ

🍴 レストラン

🏨 ホテル

📷 アクティビティ

🏛️ 美術館、博物館

🚗 交通機関

🏪 薬局

🏧 ATM



ログイン

峠用水記念碑

ボート小屋(飲料、  
カップ麺の販売)

希望湖

希望湖駐車場

大川沢端城跡

松田川

赤池テントサイト

アクアパーク斑尾

沼の原湿原



レイヤ

Google

# 暫定レイアウト配置図

アレイ面積  
 $(18,294 \times 4,196 \times 107) + (9,142 \times 4,196 \times 8) = 8,520,372\text{m}^2$



方位：真南

- 土地線～フェンス間距離：1000mm
- フェンスからのセットバック：1000mm
- アレイ間距離：5800mm
- フェンス長：805m (CAD測定)
- フェンス高：1200mm
- 敷地面積：31,107m<sup>2</sup>
- 事業内面積：29,957.91m<sup>2</sup> (CAD測定)
- パネル寸法：2382\*1134\*30mm
- 渡ケーブル本数：0本
- GL：+1000mm
- GLを考慮した影SIMになります。

土地境界線	
フェンス	
セットバック	
集電箱	
PCS	
監視装置	

## - 特記事項 -

※この図面は支給された公図及び現況を参考に作成したものであり弊社での道路境界立会確認及び隣地境界立会確認のもとに作成した図面ではありません。  
 よって寸法、面積、面積、土地形状、方位などに変更が生じる可能性があります。

※現地調査後配置が変更になる場合があります。  
 ※規定条件を満たしているとは仮定して見積もりを作成しております。  
 ※土地の境界を確定するためには公共用地管理者並びに隣接土地所有者との境界立会が必要となります。

案件名		長野県飯山市大字旭大平峰8244発電所		施工場所		長野県飯山市大字旭大平峰8244		観測地域		長野県 飯山	
MODメーカー		LONGi Solar		LR7-72HTH-615W 615W		MOD枚数		2184.48 kW		設計者	
PCSメーカー		SUNGROW		SG100CX-JP		PCS台数		1400.00 kW		担当者	
システム回路構成		16直列16並列 (256枚) *12台 16直列15並列 (240枚) *2台		架台形式		架台勾配		1/600		設計日	
				野立て		縮尺		30°		2024/ 9/19	
				MOD型番		MOD枚数		MOD発電量		設計者	
				PCS型番		PCS台数		PCS発電量		担当者	
				架台形式		架台勾配		縮尺		設計日	
				野立て		30°		縮尺		2024/ 9/19	

# 有限会社BBシステム



Google

